



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社  
 コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 大橋 智成  
 (氏名) 塚正 勉  
 TEL 044-813-8026

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,431	7.5	47	13.0	19	76.5	80	
2019年3月期第3四半期	5,872	1.4	54	78.4	82	70.3	76	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 40百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 208百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	97.98	
2019年3月期第3四半期	93.41	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	12,564	10,395	82.7	12,631.58
2019年3月期	12,913	10,510	81.4	12,770.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,395百万円 2019年3月期 10,509百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		40.00	90.00
2020年3月期		50.00			
2020年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	4.8	60		30		80		97.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	842,520 株	2019年3月期	842,520 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	19,552 株	2019年3月期	19,552 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	822,968 株	2019年3月期3Q	822,996 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、長期間にわたる米中貿易摩擦問題や、東アジアや中東における地政学的リスクの高まりから減速感が増しており、米国経済は製造業において外需の低迷などを受けて弱含みで推移し、中国においては、輸出の減少が続いていることに加え、内需の回復にも遅れが生じております。日本経済につきましても、海外経済の減速や自然災害などの影響から、輸出や生産に弱さがみられるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、当社が属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましても減少傾向が続き、市場全体が低迷いたしております。

このような環境の中、当社グループは4ヵ年の中期経営計画「Change100」のもと、産業用スイッチの分野において、「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番に選ばれるスイッチサプライヤー」となるべく、「グローバル化対応」と「勝てる武器の創造」を軸とした基本戦略を推進し、お客様の困りごとに対応するソリューションビジネスへの転換を進めると共に、国内外の展示会への出展を通じたソリューション提案の強化や、インターネットによる販売強化に努めるなど、積極的な施策を展開して参りました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,431百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は47百万円（同13.0%減）、為替差損が65百万円発生したこと等により経常利益は19百万円（同76.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は80百万円（前年同期は76百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、セグメントの概況は次のとおりであります。

#### ① 日本

世界経済の減速に伴う輸出の低迷や、消費増税による景気の下振れ懸念、相次ぐ自然災害などの影響から生産が弱含みで推移するなど、依然として先行き不透明な状態が続いております。こうした中、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューションビジネスの確立」に取り組むなど、積極的な施策を展開して参りました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比4.7%減、グループ間の取引を含んだ売上高は4,822百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

#### ② 米国

米国の保護主義的な通商政策に起因する米中貿易摩擦の長期化や、世界経済の不確実性などから製造業の景況感が低下し、予断を許さない状況が続いております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」に取り組むなど、積極的な施策を展開して参りましたが、大手ディストリビューターに今後の情勢に対する様子見傾向が強まり、在庫を圧縮した影響が大きく、この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比11.3%減、為替の影響も含め1,579百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

#### ③ アジア

米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速、日韓関係の悪化などの影響もあり、先行き不透明な状況で推移しております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」に取り組むなど、積極的な施策を展開して参りました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比4.0%減、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め3,136百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は12,564百万円（前連結会計年度末比348百万円の減少）となりました。

主な要因は、現金及び預金（同93百万円の減少）、商品及び製品（同217百万円の減少）、その他流動資産（同113百万円の減少）、有形固定資産（同189百万円の増加）によるものであります。

#### ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,168百万円（前連結会計年度末比234百万円の減少）となりました。

主な要因は、買掛金（同142百万円の減少）、その他流動負債（同217百万円の減少）、その他固定負債（同210百万円の増加）によるものであります。

#### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,395百万円（前連結会計年度末比114百万円の減少）となりました。

主な要因は、利益剰余金（同154百万円の減少）、その他有価証券評価差額金（同29百万円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月8日に公表しました通期業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,080,910	4,987,047
受取手形及び売掛金	1,223,030	1,221,575
商品及び製品	1,118,379	900,472
仕掛品	87,812	61,592
原材料及び貯蔵品	1,298,465	1,242,617
その他	319,445	205,485
貸倒引当金	△2,654	△4,606
流動資産合計	9,125,388	8,614,184
固定資産		
有形固定資産	2,173,965	2,363,898
無形固定資産	137,501	110,611
投資その他の資産	1,476,482	1,475,856
固定資産合計	3,787,949	3,950,366
資産合計	12,913,338	12,564,550
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,057,682	915,059
未払法人税等	18,652	8,094
引当金	130,595	52,856
その他	734,890	517,304
流動負債合計	1,941,821	1,493,314
固定負債		
退職給付に係る負債	103,527	100,551
役員退職慰労引当金	170,380	176,516
その他	187,441	398,309
固定負債合計	461,348	675,377
負債合計	2,403,170	2,168,691
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,531,705	8,377,007
自己株式	△161,772	△161,772
株主資本合計	10,155,037	10,000,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413,180	442,375
為替換算調整勘定	△58,414	△47,326
その他の包括利益累計額合計	354,766	395,048
非支配株主持分	364	471
純資産合計	10,510,168	10,395,859
負債純資産合計	12,913,338	12,564,550

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,872,010	5,431,698
売上原価	3,614,188	3,292,417
売上総利益	2,257,821	2,139,281
販売費及び一般管理費	2,203,686	2,092,177
営業利益	54,135	47,104
営業外収益		
受取配当金	23,068	21,469
受取賃貸料	21,704	16,745
その他	13,476	19,061
営業外収益合計	58,250	57,275
営業外費用		
支払利息	926	3,098
売上割引	9,523	5,574
賃貸収入原価	10,020	7,154
為替差損	9,558	65,809
その他	21	3,400
営業外費用合計	30,049	85,037
経常利益	82,336	19,342
特別損失		
固定資産除却損	1,854	1,146
特別損失合計	1,854	1,146
税金等調整前四半期純利益	80,481	18,195
法人税、住民税及び事業税	94,857	59,861
法人税等調整額	62,377	38,858
法人税等合計	157,234	98,719
四半期純損失(△)	△76,753	△80,523
非支配株主に帰属する四半期純利益	120	106
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△76,874	△80,630

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△76,753	△80,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225,743	29,194
為替換算調整勘定	93,916	11,087
その他の包括利益合計	△131,827	40,282
四半期包括利益	△208,580	△40,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△208,701	△40,348
非支配株主に係る四半期包括利益	120	106



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始時に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間における四半期連結貸借対照表は、有形固定資産が183百万円、その他流動負債が26百万円、その他固定負債が159百万円それぞれ増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。